

■ 日本人(であること)を理解しよう [ 社 会 学 ]

開講単位： 4単位 担当者： 服部 慶亘

学習目標

「国際化」「国際社会」などを理解・実践する前提として「自文化(自民族)の理解」および「社会科学的発想の修得」を目指すのが、本講義の目的である。

授業方法

教科書・参考書・プリント・板書を用い、受講生自身も陥りがちな問題点を指摘・講義する。必要に応じて、視聴覚資料(CD, DVD, 漫画類)を多用する。

授業計画〔各90分〕

1回目 講義目的・目標などの確認	14回目 日本(人)的「仲間意識」
2回目 状況(情況)判断について	15回目 日本(人)的「仲間意識」
3回目 日本(人)再考の必要性	16回目 日本(人)的「仲間意識」
4回目 日本(人)再考の必要性	17回目 日本(人)的「仲間意識」
5回目 「社会」のとらえ方	18回目 日本(人)再考の必要性
6回目 「社会」のとらえ方	19回目 日本(人)再考の必要性
7回目 「社会」のとらえ方	20回目 コミュニケーション
8回目 日本(人)的「愛」	21回目 コミュニケーション
9回目 日本(人)的「愛」	22回目 コミュニケーション
10回目 日本(人)的「和合」	23回目 コミュニケーション
11回目 日本(人)的「和合」	24回目 ニューミュージック分析
12回目 日本(人)的「共感性」	25回目 まとめ
13回目 日本(人)的「共感性」	

別途、ガイダンス及び試験を実施する週を設け、全30回以上を目安とする。

教科書

『人間生活の理論と構造』夏刈康男(ほか) 学文社

参考書

『補強版ストレス・スパイラル』服部慶亘 人間の科学社

成績評価基準

終講試験(70%), 受講態度(20%), レポート類(10%)で評価する。なお、全講義回数(25回)の3分の2以上の出席が原則(公欠などは申し出ること)。